



2026年7月2日

ニュースリリース
報道関係各位

株式会社ナカノフドー建設

老舗アスファルト舗装会社を M&A 長野県エリアでのさらなるグループシナジー創出へ

株式会社ナカノフドー建設（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：飯塚 隆、以下「当社」）は、2026年7月1日付で、当社子会社である株式会社トライネットホールディングス（本社：長野県飯田市、以下「トライネットグループ」）を通じ、株式会社振興建設の株式を取得し、同社を完全子会社化いたしました。

本件は、当社が中期経営計画「中計 86」で掲げる土木事業の拡大および業務内製化の推進に向けた取り組みの一環です。地域に根差した施工力を持つ振興建設をグループに迎えることで、建設業界で深刻化する人手不足や労務確保の課題に対応しながら、舗装・土木領域における競争力の強化を図ります。



株式譲渡契約時の写真

左より当社社長 飯塚、振興建設 村山社長、振興建設 小林取締役、当社副社長 大島

【株式取得の背景】

当社は、2026年3月期を初年度とする中期経営計画「中計 86」において、国内建設事業の収益性改善と土木事業の拡大を重要施策に掲げています。特に、建設業界では技術者・技能者不足、資材価格の高止まり、施工体制の確保といった課題が続くなか、M&Aを活用した事業基盤の強化は、持続的な成長に向けた有効な選択肢の一つとなっています。

トライネットグループは、1949年の会社設立以来、長野県飯田市を基盤に、道路・河

川・砂防・治山などの社会資本整備をはじめ、総合建設業、不動産事業、リフォーム事業を展開してまいりました。今回、同じ長野県エリアで事業を展開する振興建設をグループに迎えることにより、労務不足による受注機会の逸失防止、アスファルト舗装工事の内製化による調達コストの抑制、施工対応力の向上および事業エリアの拡大が期待されます。これらの取り組みを通じ、当社グループは地域インフラを支える施工体制を一層強化し、グループ全体のシナジー創出を目指してまいります。

【今後の展望】

株式譲渡式では、当社、トライネットグループおよび振興建設の関係者が出席し、今後の連携に向けた意見を交わしました。当社社長の飯塚は、「素晴らしいご縁をいただき、誠にありがとうございます。今後ともぜひ協力してまいりたい」と述べました。また、当社副社長の大島は、「地方建設業は地域社会にとってなくてはならない存在です。互いに協力し合い、末永く歩んでまいりたい」と話しました。これに対し、振興建設の村山社長は、「技術、人材の両面において大いに期待しております。今後ともぜひよろしくお願いいたします」と述べ、今後の連携に期待を示しました。

今回の株式取得により、トライネットグループにおけるアスファルト舗装工事の施工体制を強化し、労務確保、原価管理、工期対応力等の面でグループシナジーをさらに高めてまいります。舗装工事の内製化を進めることで、外部環境に左右されにくい安定的な施工体制の構築と、コスト競争力の向上を図ります。

今後は、当社が有する建築・海外建設事業の知見と、トライネットグループが培ってきた地域密着型の土木施工力を相互に活用し、土木事業および建築事業の展開を全国規模で推進してまいります。建設業界の構造変化に対応しながら、地域社会の安全・安心を支えるインフラ整備に貢献し、さらなる企業価値の向上を目指します。

【株式会社ナカノフドー建設 会社概要】

本社 〒102-0073

東京都千代田区九段北四丁目2番28号 NF 九段

創業 1933年（昭和8年）2月8日

設立 1942年（昭和17年）12月19日

資本金 50億6,167万8,686円：発行済株式総数 34,498,097株

従業員 1,349名（連結）790名（個別）（2026年3月31日現在）

株式上場 東京証券取引所

スタンダード市場

事業内容 国内建設事業

海外建設事業

不動産事業

<取材依頼等に関するお問い合わせ先>

株式会社ナカノフドー建設

経営企画部 田村 瑠南

TEL. 03-3265-4666

Mail. tamura_runa@wave-nakano.co.jp